



安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE ABLESTIK 2116-H known as TRA-BOND 2116-H

SDS No. : 395285

V001.2

改訂: 31.08.2018

発行日: 21.04.2020

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1446077
製品名 : LOCTITE ABLESTIK 2116-H known as TRA-BOND 2116-H

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
急性毒性	区分 2	吸入	
皮膚腐食性	区分 1		
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1		
皮膚感作性	区分 1		
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3		気道刺激性
水生環境有害性(急性)	区分 3		

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H330 吸入すると生命に危険 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H402 水生生物に有害。
安全対策	P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
応急措置:	P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303+P361+P353 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P304+P340+P310 吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
N—(2—アミノエチル)エタン—1, 2—ジアミン (DETA)	30.0 %
エポキシポリアミンアダクト	>= 70 - <= 80 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合: 流水とせっけんでよく洗い流すこと。
もし刺激が続くならば治療を受けてください。

眼に入った場合：	直ちに流水で10分以上洗い、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぎ、コップに1～2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
吸入した場合：	製品が低揮発性なので、特に問題ではない。しかしながら、もし気分が悪い場合は空気の新鮮な場所に移動すること。

5. 火災時の措置

消火剤：	水、二酸化炭素、泡、粉末
使ってはならない消火剤：	高圧水噴射
保護具：	自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	皮膚や眼に触れないようにすること。 保護具を着用すること。 十分な換気を保つこと。 着火源を取り除くこと。
環境に対する注意事項	下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
除去方法：	少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。 大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	皮膚および眼への接触を避けること。 8項目の注意を参照すること。
保管：	しっかりした換気／排気を確保すること。 容器をしっかり密封しておくこと。 室温で保存すること。 技術資料を参照すること

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分な換気を保つこと。
換気状態の悪い場所でこの製品を扱う場合は認可された呼吸マスクや有機蒸気カートリッジ付呼吸保護具を使う。

眼の保護具: 飛沫の危険がある場合はサイドシールド付きの安全眼鏡もしくは化学的安全ゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	無色
臭い:	アンモニア
pH:	> 7
融点/凝固点:	データ無し
沸点:	> 190 ° C (> 374 ° F)
引火点:	100 ° C (212 ° F)
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	< 133.3 Pa
蒸気密度:	データ無し
比重:	1.0892 g/cm3
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性: 強酸化剤
強塩基
酸

混触危険物質: 適切に使用した場合特になし。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。

避けるべき条件 指導通りに保存、適用されれば分解はしない。

危険有害な分解生成物: 加熱分解した場合にガスが発生する可能性がある。このガスは一酸化炭素および他の毒性ガスを含有する恐れがある。
急速な重合は過度の熱および圧力を発生する可能性がある。

1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
N—（2—アミノエチル）エタン—1, 2—ジアミン (DETA)	急性毒性	区分4	経口	
	急性毒性	区分2	吸入	
	急性毒性	区分4	経皮	
	皮膚腐食性	区分1B		
	皮膚感作性	区分1		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		気道刺激性
エポキシポリアミンアダクト	分類の必要なし			

一般毒性情報： 動物実験検査データなし。

経口毒性： Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 評価計算

吸入毒性： Acute toxicity estimate (ATE) : 0.23 mg/l
ばく露時間: 4 h
試験環境: 粉塵
方法: 評価計算

経皮毒性： Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 評価計算

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
N—（2—アミノエチル）エタン—1, 2—ジアミン (DETA)	水生環境有害性(急性)	区分3

一般環境有害性情報： 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

1 3. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法： 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法： 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

1 4. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 8
Packing group: III
UN no.: 2735
Label: 8
EmS: F-A,S-B
Seawater pollutant: -
Proper shipping name: AMINES, LIQUID, CORROSIVE, N. O. S. (Diethylenetriamine)

Air transport IATA:

Class: 8
Packing group: III
Packing instructions (passenger) 852
Packing instructions (cargo) 856
UN no.: 2735
Label: 8
Proper shipping name: Amines, liquid, corrosive, n.o.s. (Diethylenetriamine)

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物

N—（2—アミノエチル）エタン—1， 2—ジアミン（DETA）

名称等を表示すべき有害物

N—（2—アミノエチル）エタン—1， 2—ジアミン（DETA）

消防法

第4類引火性液体, 第4類第3石油類(非水溶性)

毒劇物法:

劇物（指定令）

N—（2—アミノエチル）エタン—1， 2—ジアミン（DETA）

PRTR 法:

該当しない

16. その他の情報

発行日:

21. 04. 2020

問い合わせ先:

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

SDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び
規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-
1771